

# IR REPORT

第10期 中間報告書 2009年2月1日～2009年7月31日

ミネルヴァ・ホールディングス株式会社



証券コード 3090



## 中期経営計画の達成に向け、 ソリューション事業の 拡大を目指す

株主・投資家の皆さまには、日頃より格別のご厚意を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ミネルヴァ・ホールディングスの当第2四半期（累計）における業績は、売上高が33億64百万円、四半期純利益が30百万円となりました。売上面では、主力のEコマース事業が順調だったほか、ECソリューション事業でBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング（※1））ビジネスが伸長しましたが、利益面では小売業界全体の値下げラッシュの影響を受けたほか、一部分野でシェア拡大を優先したため、遺憾ながら当初予想に対し不足が生じました。ただ、これらは将来への先行投資であり、将来大きな結実があると認識しております。今後とも役職員一同、中期経営計画の達成に向け努力いたしますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長CEO  
中島 成浩

※1 BPO：企業の業務処理の一部を外部委託すること、あるいはそれを引き受けるビジネス。

PART

1

### 当第2四半期の業績 “安・近・短”レジャーブームが 追い風に

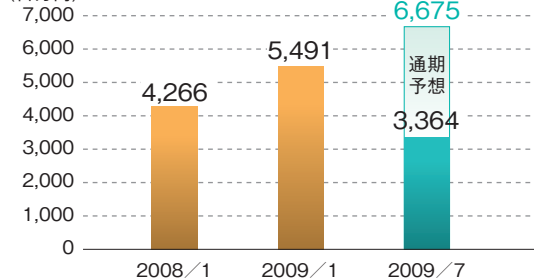
国内景気が低迷を続ける昨今ですが、当社が属するEコマース業界は、従前と変わらぬ成長速度を保っています。不況で消費者が外に出る機会が減り、いわゆる“巣ごもり消費”が増えたためです。

さらに、当社の主要マーケットであるアウトドアや釣りが“安・近・短”なレジャーとして見直されたことも、当社にとって追い風となりました。

これらの外部要因を背景に、当社の主力事業であるEコマース事業の売上高は、順調な成長を遂げました。以下、サイト別にご説明いたします。

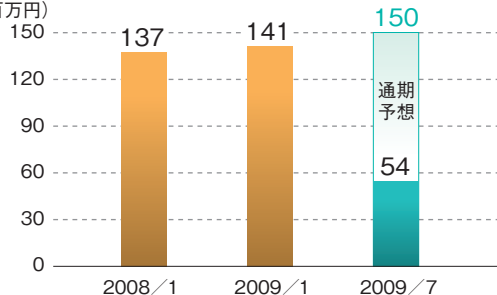
## ○売上高

(百万円)



## ○経常利益

(百万円)



※2008/1の数値は、旧(株)ナチュラルムの個別業績です。

## PBキャンプ用品や釣具を市場投入

主要Eコマースサイトの中で売上高の伸び率が最も高かったのは、美容器具や健康関連用品を扱う「健康計画」でした。商品数を6万アイテム近くにまで伸ばす一方で、この数年、ナチュラルム出身のバイヤーを投入してテコ入れを図ってきた成果です。膨大な商品数を通じて新たな需要を掘り起こす、ロングテール戦略(※2)が本格的に機能してきており、月商でおよそ1億円、前年同期比の売上高伸び率は倍増する勢いで推移しています。

一方、主力サイトの「ナチュラルム」では新たに、キャンプ用品のプライベート・ブランド(PB)商品「ハイランダー」と釣具の「バックニア」を発売しました。売れ筋品種のエントリーモデルが中心で、生産は中国の契約工場で行っており、利益率はナショナル

健康計画



ブランドの倍以上。今後の収益率向上の切り札であり、将来的には売上2~3割をPBで得られるように伸ばしていきたいと考えています。

前期に立ち上げた「オタクの電腦街」は、コンスタン



キャンプ用品のPB「ハイランダー」



釣具のPB「バックニア」

トに月商2,000万円を上げられるようになり、登録アイテム数も前年度末より3万点多い約7万点にまで拡大しました。いよいよトップシェアの獲得を目指すべき時期に来たと判断しており、勢いを付けるために7月から、税込5,250円以上のお買い物の送料を無料とするキャンペーンを始めています。

※2 ロングテール戦略：Eコマース独特の戦略。実店舗に比べ極めて低い陳列コストを活かし、非売れ筋商品を大量に揃えて細かな売上を積み重ねることで、トータルでの収益力向上を図る。

## 中国BPOビジネスが活況

また、今後の成長分野と目しているECソリューション事業では、中国子会社を活用したBPOビジネスが活況を呈しました。ECサイトのデータベースへの商品登録など、Eコマースの人手がかかる部分を代行するもので、現在の契約件数はおよそ10社。月に10人ずつ現地スタッフを増やしても業務量の増加に追いつかず、引き合いがあっても待っていただいている状況です。

当社ではこの数年、中国子会社の能力向上に取り組んできました。今では現地スタッフの日本語能力も管理能力もハイレベルに達し、特に生産性管理では、ストップウォッチで作業時間を測定して工程の改善を図るといふ、当社が国内で培ってきたノウハウの移植に成功しています。

そこで今春、お客さまに現地の実力を見ていただこうと、数回にわたり現地ツアーを開催。現地スタッフの働きぶりをお目にかけてところ、その前向きさや熱意にいたく感動いただきました。このツアーが功を奏し、予想以上の売上につながった次第です。



当社中国子会社・成都音和娜網絡服務有限公司

PART

2

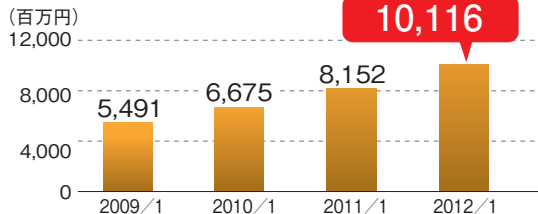
今後の取り組み

## 来期を目処に中国でのEコマース事業を展開

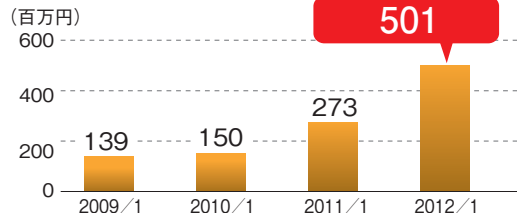
当社は現在、2012年1月期に売上高101億円、営業利益5億円を目指す中期経営計画を遂行中です。今のところはおおむね予定通りに推移していますが、まだまだやるべきことは山積んでいます。

### ■中期経営計画 (2010-2012年)

#### 売上高目標



#### 営業利益目標



#### セグメント別目標

Eコマース  
事業

[売上高]  
91億16百万円

- ポイント① 既存サイトの市場シェア拡大
- ポイント② ロングテール&ショートヘッド戦略を他の市場分野でも展開
- ポイント③ PBブランドの展開

EC  
ソリューション  
事業

[売上高]  
10億00百万円

- ポイント① 「ジェネシスECセンター」で、Eコマース新規参入者を支援
- ポイント② 将来的にはECソリューションのマーケットプレイスに

中でも重視しているのは、ECソリューション事業の拡大です。その軸となるのが、「ジェネシスECセンター」という新たなソリューション概念。商品データベースや決済システムなど、Eコマースに必要な基本機能を備えたASPサービス「Genesis-EC」をプラットフォームに、物流アウトソーシングサービスやBPO、物流機能などを組み合わせ、EC事業者さまが望むソリューションとして一括ご提供するフルフィルメントサービスです。

最近のBPOビジネスの拡大は「ジェネシスECセンター」の実現に向けた第一歩です。今後は同業企業のM&Aも検討し、サービス供給力の強化を図ります。

また、中国でのEコマースビジネスへの参入も大きな課題です。その前準備として今年から、中国の企業間Eコマース最大手「アリババ」の日本法人と提携し、同社サイト上での現地企業向け商品販売を始めました。

来期を目処に、中国でのEコマース事業を本格スタートできればと考えており、現在はそのスキーム作りに取り組んでいます。前述のアリババサイト上で、現地の日本商品に敏感なバイヤーとの商談を繰り返し、中国での売れ筋商品の見極めや、流通量の拡大を図っている状況です。

これらの施策を通じ、当社は今後とも成長路線を進んでまいります。BPOにせよPBにせよ、今年はまだ仕込みの段階。結果が出るのは来年以降になりますが、ご期待に沿えるだけの成果を得られると確信しております。



## Eコマース事業

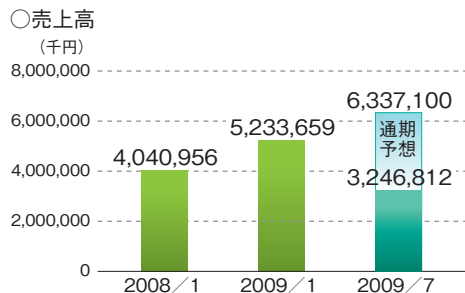
## 売上高、会員数ともに2割を超える成長を達成

Eコマース事業の売上高は、32億46百万円となりました。

深刻化する景気低迷をよそに、前第2四半期連結累計期間比で売上高126.2%、出荷件数138.2%、会員数125.2%と、いずれも堅調な成長を遂げました。ブロードバンドの普及など、年々改善しつつあるインターネット環境がその背景にあります。

サイト別に見ると、主力ECサイトの「ナチュラム」では、集客ツールである「blog@naturum」の大幅リニューアルを実施。その結果、2009年7月末時点で、会員数14,500人、開設ブログ数11,300ブログ、月間4,200万PV（ページビュー）という業界最大級のアウトドア・フィッシングのコミュニティサイトに成長し、「ナチュラム」への集客に貢献しました。

健康・美容商品に特化したECサイト「健康計画」では、サイト6周年記念としてポイント2倍セールなどを行いました。また、ホビー商品の専門ECサイト「オタクの電腦街」は、ショッピングモール（仮想商店街）「Yahoo!ショッピング」「楽天市場」に出店する一方で、登録商品数を7万点以上にまで拡充。送料無料キャンペーンも開始し、トップシェアの早期確保に尽力しました。



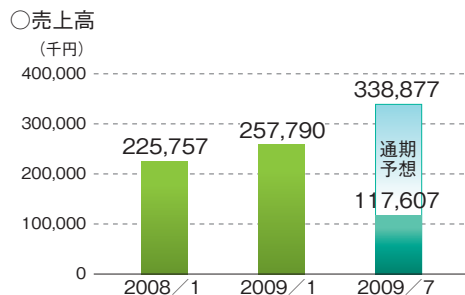
※2008/1の数値は、旧(株)ナチュラムの個別業績です。

## ECソリューション事業

## BPOビジネスが好評

ECソリューション事業の売上高は、1億17百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間には、ソリューションの基盤となるオンラインショップ統合システム「Genesis-EC」の機能強化を通じて顧客利便性の強化に努めました。また、中国子会社を介した業務処理のオフショア化を提供するBPO事業が、その高品質・低価格から好評を得、多くのクライアントを獲得できました。



※2008/1の数値は、旧(株)ナチュラムの個別業績です。

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2009年7月31日現在)	前連結 会計年度末 (2009年1月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>1,684,424</b>	<b>1,208,027</b>
<b>固定資産</b>	<b>259,996</b>	<b>199,681</b>
有形固定資産	41,691	34,184
無形固定資産	135,118	76,314
投資その他の資産	83,186	89,182
<b>資産合計</b>	<b>1,944,421</b>	<b>1,407,709</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>950,190</b>	<b>463,457</b>
<b>固定負債</b>	<b>40,152</b>	—
<b>負債合計</b>	<b>990,343</b>	<b>463,457</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>954,078</b>	<b>944,251</b>
資本金	602,737	602,737
資本剰余金	157,490	157,490
利益剰余金	313,688	282,701
自己株式	△ 119,838	△ 98,677
<b>純資産合計</b>	<b>954,078</b>	<b>944,251</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,944,421</b>	<b>1,407,709</b>

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (自2009年2月1日 至2009年7月31日)	前中間連結 会計期間 (自2008年2月1日 至2008年7月31日)
売上高	3,364,419	2,698,638
売上原価	2,440,387	1,969,700
売上総利益	924,031	728,938
販売費及び一般管理費	868,888	628,466
営業利益	55,143	100,472
営業外収益	1,530	1,425
営業外費用	2,059	1,219
経常利益	54,614	100,678
特別利益	0	28,855
特別損失	—	25,606
税金等調整前四半期(中間)純利益	54,615	103,927
法人税等	23,628	34,575
四半期(中間)純利益	30,987	69,352

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (自2009年2月1日 至2009年7月31日)	前中間連結 会計期間 (自2008年2月1日 至2008年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,141	23,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 42,810	△ 39,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,014	△ 100,770
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	77,062	△ 115,868
現金及び現金同等物の期首残高	310,518	451,346
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	387,580	335,478

## 会社概要

2009年7月31日現在

会社名	ミネルヴァ・ホールディングス株式会社
URL	<a href="http://www.minerva-hd.com/">http://www.minerva-hd.com/</a>
代表取締役社長	中島 成浩
資本金	6億273万7,600円
社員数	61名(グループ会社従業員含む)
本社所在地	〒540-0011 大阪市中央区農人橋一丁目1番22号大江ビル10階
物流センター	〒438-0818 静岡県磐田市下万能101番地ムトウ・ナチュラム物流センター
事業内容	■Eコマース(インターネット通信販売)事業及び、 情報提供サービス ■Eコマースのための各種ソリューションサービス

## 役員一覧

2009年7月31日現在

代表取締役会長兼社長CEO	中島 成浩
取締役副社長COO	及川 信宏
取締役副社長CFO	福岡 登
取締役	谷本 博文
取締役	加津 茂治
取締役	高橋 要
取締役	譚 玉峰
常勤監査役	大社 昂
監査役	岡本 健一
監査役	浅野 弘

## 株式の状況

2009年7月31日現在

発行可能株式総数	38,668株
発行済株式の総数	11,281株
株主数	1,178名

## 株主メモ

2009年7月31日現在

事業年度	2月1日から1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	7月31日
1単元の株式数	—
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。なお、電子公告は、当社のホームページに掲載し、そのアドレスは以下のとおりです。 ○ホームページアドレス <a href="http://www.minerva-hd.com/ir/notice/">http://www.minerva-hd.com/ir/notice/</a>

証券コード 3090

## 株主優待制度について

当社グループのEコマースサイトでご利用いただけるマイレージポイント(1ポイント=1円相当)を年2回、所有株数および保有期間に応じて贈呈します。株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝を示すとともに、長期保有していただけるインセンティブをご提供しようというものです。(2009年7月31日現在の株主様には、10月中旬に、優待券の発送を予定しております。)